

2005年度

第45回 日本社会学史学会大会プログラム

期日：2005年6月25日(土)～26日(日)

会場：熊本学園大学(11号館1173教室)

第一日目 6月25日(土)

受付開始 12時15分～

新理事会 (11時～11時40分)

新旧合同理事会 (11時50分～12時40分)

開会の辞 (12時50分～) 日本社会学史学会会長 富永健一

一般研究報告1 (13時～14時) 司会 小川英司(鹿児島国際大学)
バーガー社会学の現代社会論的意義 吉田幸治(立命館大学)
社会科学における「形式の探究」の位置 河野憲一(早稲田大学)

一般研究報告2 (14時10分～15時40分) 司会 新 睦人(奈良女子大学)
何が社会と呼ばれていたか 左古輝人(法政大学)
宋・明代中国における用法から
間(あいだ)の思想と社会学
和辻哲郎から相互行為論まで 犬飼裕一(北海学園大学)
日本における都市社会学の受容とシカゴイデオロギー 藤田弘夫(慶應義塾大学)

一般研究報告3 (15時50分～16時50分) 司会 大野道邦(京都橘大学)
アドルノ音楽論の公共性的展開の可能性と限界 片上平二郎(立教大学)
ピョートル・シュトンプカの『社会生成の社会学』 石塚省二(東京情報大学)

奨励賞授与式 (17時～18時)

総会

懇親会 (18時15分～20時30分) 《大学本館4Fグリル》

第二日目 6月26日(日)

一般研究報告4 (10時~11時30分)

19世紀ポピュリズムとアメリカ知識人

マーソンの社会構造論

多元的社会の構造と三つのパーソナリティ

パーソンズの有機的連帯論

司会 富永健一(東京大学)

千守隆夫(立命館大学)

河村有毅(立命館大学)

小林孝雄(創価大学)

シンポジウム (12時30分~15時30分)

共通テーマ 《リスク社会と知の社会学》

司会 友枝敏雄(九州大学)

浜日出夫(慶応義塾大学)

報告1 リスクの社会システム理論 ルーマンの視角

小松丈晃(北海道教育大学)

報告2 リスク、安全性、組織 事故社会学と高信頼性組織研究

福島真人(東京大学)

報告3 トランスナショナルリティの時代における政治と社会学

ヴェーバー対ベック、または「国家」対「帝国」?

中村健吾(大阪市立大学)

討論者1 松本三和夫(東京大学)

討論者2 三上剛史(神戸大学)

報告 (12時30分~13時45分)

休憩 (13時45分~14時)

討論 (14時~14時20分)

リプライ (14時20分~14時40分)

フロア (14時40分~15時30分)

【大会のご案内】

- 報告時間 自由報告は30分（報告20分、質疑応答10分）
シンポジウムの報告時間は各25分、討論者発言は各10分です。
- 大会参加費 一般会員 2,000円、学生会員 1,000円（非学生会員含む）
非会員 2,000円
- 懇親会費 3,500円（学内大学本館4Fグリル）
- 学会年会費 一般会員 5,000円、学生会員 3,000円
- 理事会会場 本館3F・特別会議室
- 大会・総会会場 11号館・1173教室
- 会員控室 11号館・1172教室
- 論文抜刷・書籍等扱い（必ず事前に事務局へお届けください。当日申し込み一切不可）
11号館・1172教室（会員控室内限定・それ以外不可、厳守）
- コピーについて 大会開催校および事務局では、一切のコピーサービスをお断り申し上げます。大会運営上会員各位のご協力をお願いします。
- 熊本学園大学所在地 〒862-8680 熊本市大江2-5-1
（大会本部） 電話096-364-5161（大学代表）
米川 清研究室
- 学内の飲食施設 学内食堂利用不可能。大学周辺の飲食店をご利用ください。
- 交通機関・校舎案内
- 熊本学園大学（アクセスマップ）は、本学会HPをご覧ください。

日本社会学史学会事務局

〒156 8550 東京都世田谷区桜上水3 25 40

日本大学文理学部社会学研究室内

TEL 03-3329-1151（内線4717）

FAX 03-5317-9423（学科研究室）

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jashs/>

（電話でのお問合せは、火・水・木）